

# 平成18年度決算説明会資料

平成19年5月8日



東北電力株式会社

# 目 次

---

## I. 平成18年度決算のポイント

I-1. 販売電力量	P	1
I-2. 販売拡大実績	P	2
I-3. 経常収益, 経常費用	P	3
I-4. 経常利益, 当期純利益	P	4
I-5. 主要指標の推移	P	5

## II. 平成19年度業績見通し

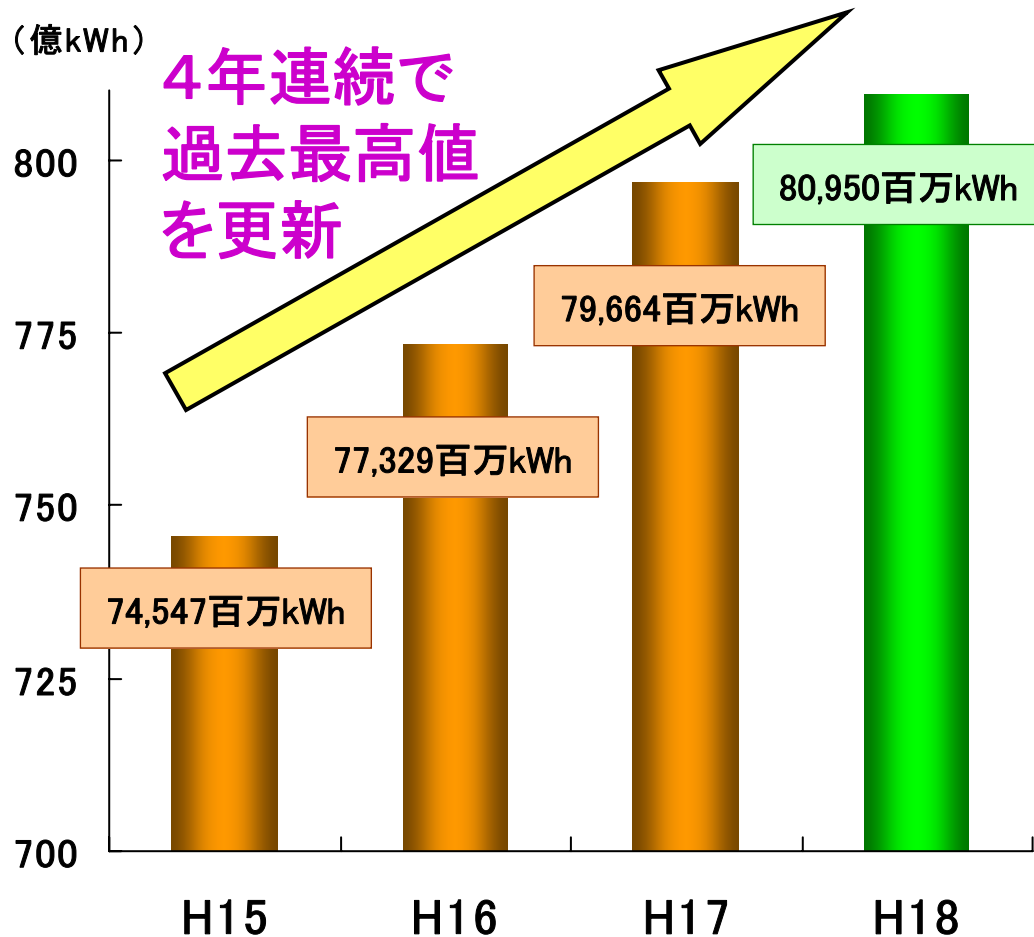
II-1. 販売電力量の見通し	P	6
II-2. 収支の見通し	P	7

## III. 配当政策

III 配当政策	P	8
----------	---	---

# I-1. 販売電力量

販売電力量 809億5,000万kWh  
 前年比 12億8,600万kWh増 (+ 1.6%)



(単位: 百万kWh)

区 分		18年度実績 (A)	17年度実績 (B)	前年比 (A/B)
特定規模以外	電 灯	24,291	24,355	99.7%
	電 力	4,302	4,724	91.1%
	小 計	28,593	29,079	98.3%
特定規模需要		52,357	50,585	103.5%
合 計		80,950	79,664	101.6%

[再掲]

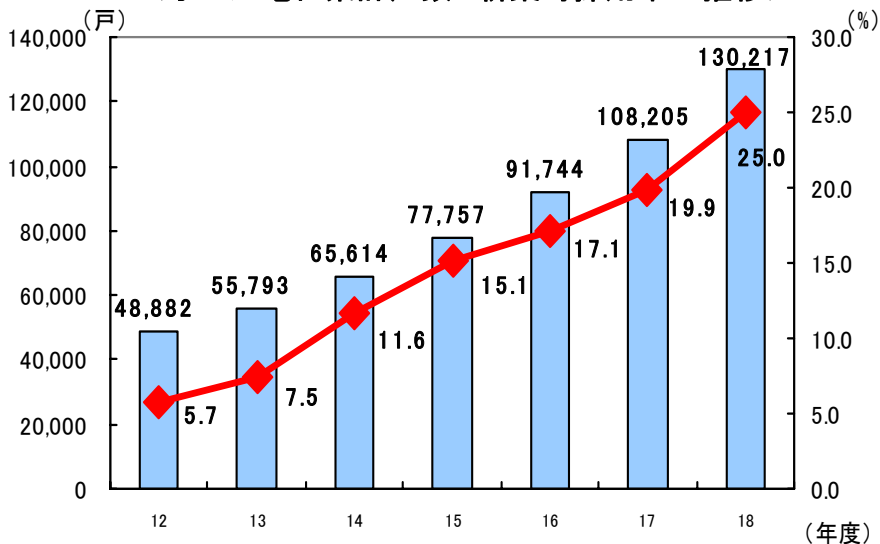
大口電力	27,256	25,556	106.7%
------	--------	--------	--------

# I-2. 販売拡大実績

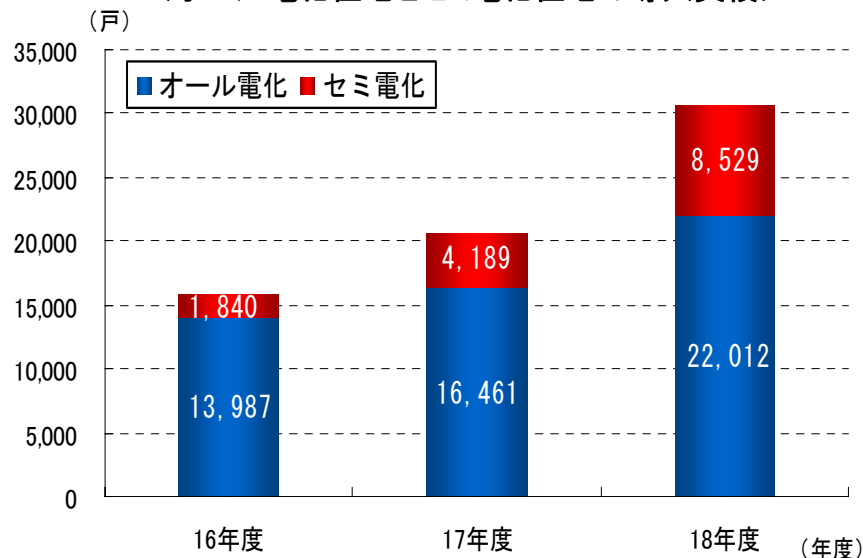
	平成16年度実績	平成17年度実績	平成18年度実績	累計実績
販売電力量※1 (平成20年度までに10億kWh程度創出)	約2億kWh	約2.5億kWh	約3.3億kWh	約7.8億kWh
オール電化住宅導入	13,987戸	16,461戸	22,012戸	52,460戸
IHクッキングヒーター導入 (オール電化住宅設置分以外のIH単体導入)	16,136台	23,618台	34,989台	74,743台
業務用電化厨房導入	25,465kW	24,451kW	31,221kW	81,137kW
蓄熱等空調システム導入※2	31,094kW	53,579kW	70,161kW	154,834kW

※1 試算モデルによる年ベース換算値    ※2 19年度中期計画目標値ベース

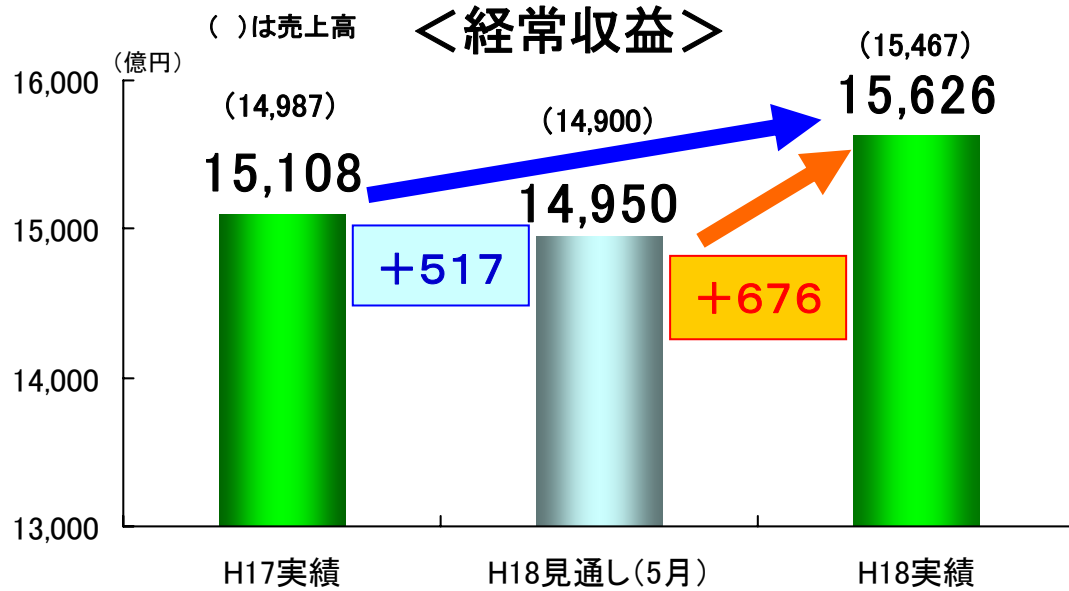
＜オール電化累計戸数と新築時採用率の推移＞



＜オール電化住宅とセミ電化住宅の導入実績＞



# I-3. 経常収益, 経常費用

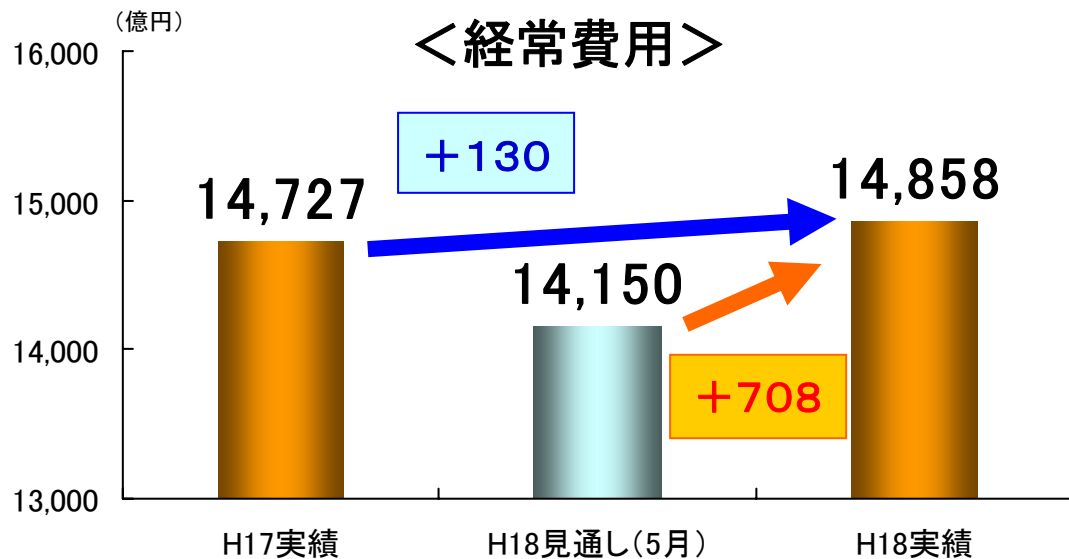


経常収益 15,626億円

前年比 +517億円

【主な要因】 (+3.4%)

- ・電灯電力料 +395億円
- ・地帯間販売電力料 +74億円



経常費用 14,858億円

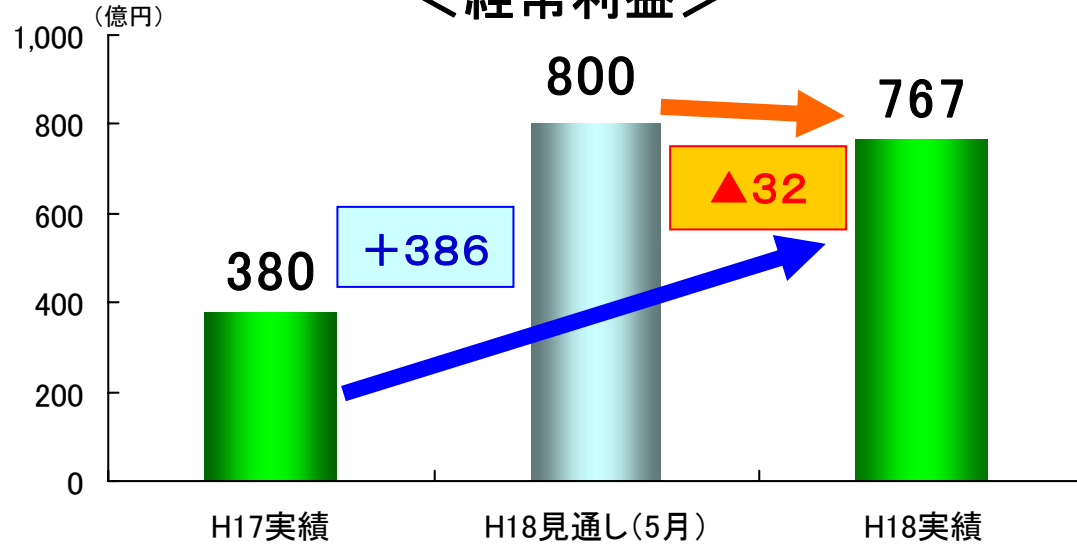
前年比 +130億円

【主な要因】 (+0.9%)

- ・人件費 ▲318億円
- ・燃料費 +176億円
- ・購入電力料 +168億円
- ・修繕費 +101億円

# I - 4 . 経常利益, 当期純利益

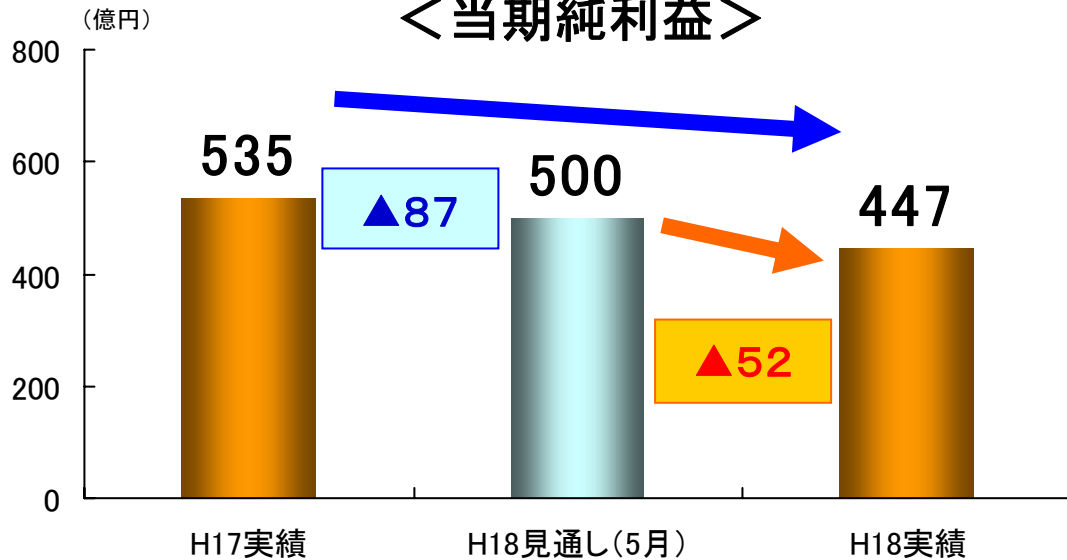
## < 経常利益 >



経常利益 767億円  
 前年比 +386億円  
 (+101.5%)

< 前年比 >  
 特別利益 ▲477億円

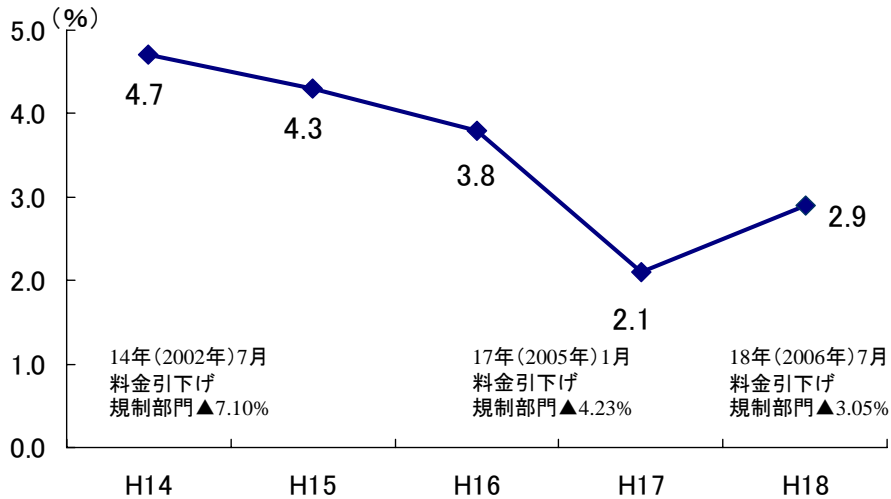
## < 当期純利益 >



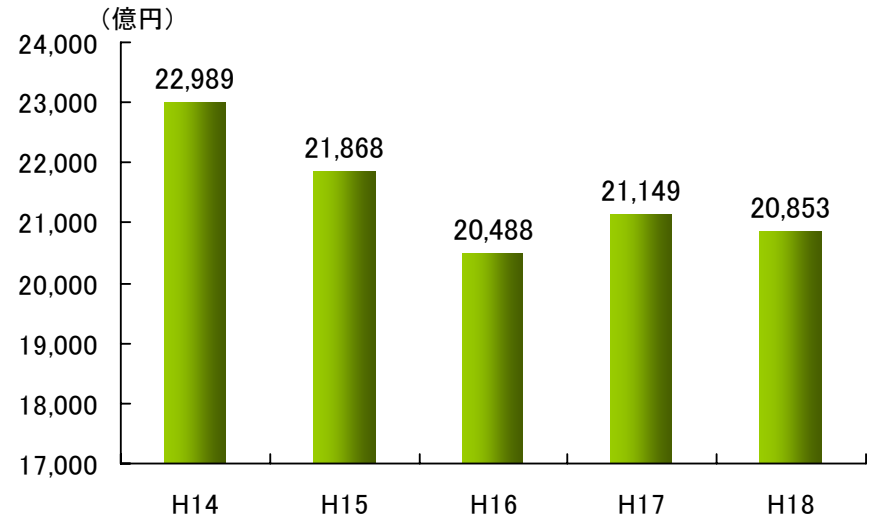
当期純利益 447億円  
 前年比 ▲87億円  
 (▲16.4%)

# I-5. 主要指標の推移

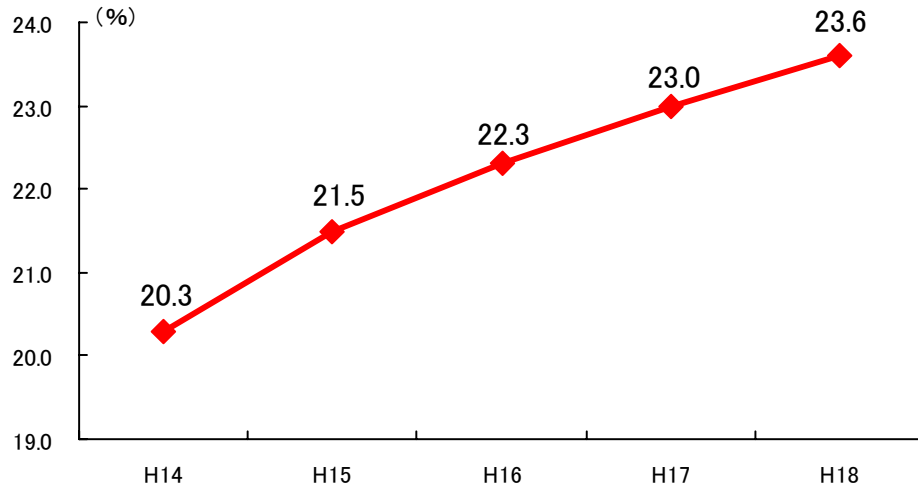
ROA



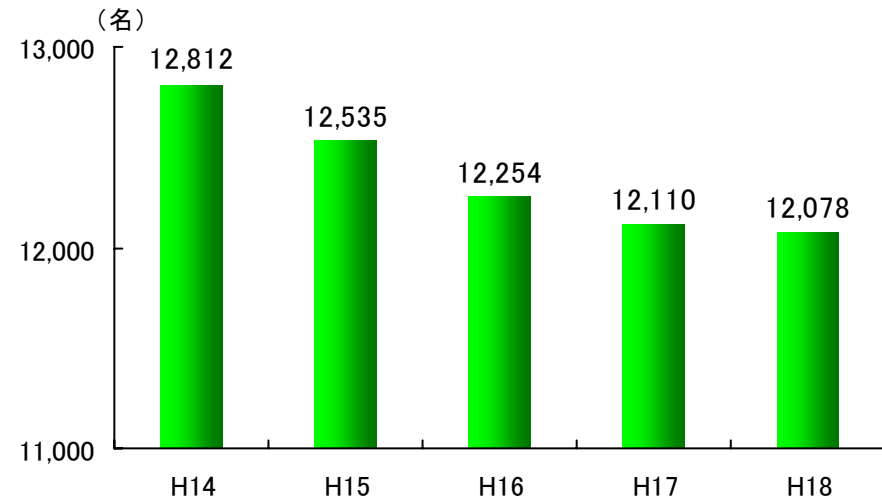
有利子負債残高



自己資本比率



従業員数



販売電力量 825億kWh (+1.9%)

産業用を含む特定規模需要 535億kWh (+2.1%)  
企業の設備投資意欲は依然として旺盛

## 販売拡大活動の主な取組み

### 家庭用分野

- 新築オール電化に加え、既築需要の電化対策を強化
- エルパルショップ(東北電力電化普及協力店)の拡大
- “すぽっ!と電化”によるセミ電化の推進
- 省エネルギー型給湯器「エコキュート」などの提案活動の積極的な推進

### 事業用分野

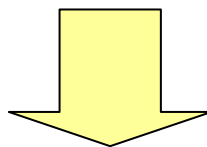
- 電化厨房 ⇒ これまでの学校給食センター等での導入経験を活かし、市場規模が大きい外食・中食市場への提案を強化
- 空調システム ⇒ 寒冷地向けシステムを活用した提案活動を積極的に推進



## Ⅱ-2. 収支の見通し

(単位: 億円)

	19年度見通し (A)	18年度実績 (B)	増 減 (A) - (B)	前年比 (A) / (B)
売上高	15,400	15,467	▲ 67	99.6 %
営業利益	1,200	1,083	116	110.8 %
経常利益	800	767	32	104.2 %
当期純利益	500	447	52	111.7 %

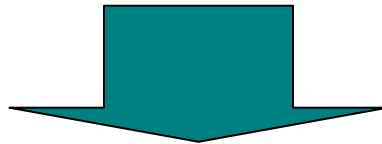


「減収・増益」の見通し

## 基本方針

配当については、安定配当の確保を基本に、中長期的な収支見通しや経営目標の達成状況などを総合的に勘案し決定

- 単年度の収支状況が悪くとも可能な限り減配はしない
- 電力株に対しては安定的な配当を期待している株主の皆さまも多い
- 今後の株主還元策(増配等)を検討する際の要因として、原子力の稼働状況、電力自由化、競争環境の変化に伴う電気料金引き下げ、環境対策などがある



## 配当金

- 18年度期末配当金は、中間配当金と同じく1株につき30円
- 18年度年間配当金は、前年度に比べ5円増配の1株につき60円

当資料は、東北電力の評価を行うための参考となる情報提供のみを目的としたものです。当資料に掲載されております予測数字等は、東北電力の将来に関する見通し及び計画に基づく将来予測であります。

従って、これらの業績見通しのみで全面的に依拠する事はお控え下さいますようお願いいたします。

これらの将来予測には、既知・未知のリスクや不確定な要素などの要因が含まれており、その要因によって東北電力の実際の成果や業績、実績などは、記載の見通しとは大きく異なることが有り得ます。

東北電力では、投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承下さい。